



▲協定書を交わし、握手する荒井知事（左）と森町長

5月29日、田原本町と奈良県は、持続的発展や活性化を企図したまちづくりを推進していくため、田原本駅周辺地区において「まちづくりに関する包括協定」を締結しました。

この協定は、「まちづくり」に前向きでアイデアや熱意のある市町村を奈良県がより積極的に支援するものです。今後、相互に情報や意見交換に努め、まちづくりについて協働で検討や取り組みを進めていきます。

5/29

## 田原本駅を核にまちづくり 奈良県と田原本町が包括協定を締結



▲力を合わせて穴の中に柱を立てる

5月16日、北小学校の6年生40人が、弥生時代の技術を体験する総合学習の一環として、唐古・鍵遺跡史跡公園予定地内で立柱体験を行いました。

当時の衣装を着た児童たちは、長さ4呎の柱を力を合わせて引っ張り穴に落とし込み、「テコの原理」で立ち上げて固定しました。柱が立ち上がったとき、児童たちから大きな歓声が上がっていました。

5/16

## 弥生時代の技術を体験 北小学校の児童が立柱体験



▶蛇が突然暴れ出す



〈今里〉

◀蛇を担いで練り歩く

6月4日、五穀豊穣と無病息災を祈願する伝統神事「蛇巻き」が今里と鍵で行われ、大勢の見物客で賑わいました。

今里では、麦わらを編んで作られた長さ18呎になる蛇を子どもたちが担ぎ村中を巡行、家々を訪れ「おめでどう」と大きな声を上げお祝いしました。途中、蛇は急に暴れ出し、近くにいた人をぐるぐると巻き込みます。巻かれると、その一年を無病息災で過ごせるといわれているため、巻かれた人も笑顔をみせていました。

〈鍵〉

▼蛇網を負けじと引っ張る



▲重い頭を担いで前進

また、集まった人たちは蛇の勢いに驚きながらも、その様子を楽しんでいました。

鍵の蛇は稲わらを束ねて作られたもので、その頭の重さは約250gにもなります。息を合わせながら、大人と子どもで頭を担ぎ、ゆっくりと村中を練り歩きました。道中、尾を後ろへと引っ張る子どもたちに行く手を阻まれつつも、先頭はその力に負けないように「せーの」の大きな掛け声とともに、一步一步、力強く進みました。

6/4

## 蛇を担いで巡り、豊作を祈願 今里の蛇巻き・鍵の蛇巻き